

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フッタ博士のわくわくドット推してきてく

国立市立国立第七小学校

平成29年11月22日 NO.70 (470)

花ちゃん 「最近フワフワ飛んでいる白い虫を見かけるけど何かしら？」

オー君 「ああ、おしりが白い綿毛みたいになっている虫だね。『雪虫』って言うんだよ。」

モンタ博士 「うちの方では『しろっこ』と呼ぶんです。井上靖さんの小説の題名『しろばんば』は、伊豆地方の雪虫の呼び方だそうだよ。」

フッタ博士 「はい、みなさん。それはアブラムシの一種、正式にはリンゴワタムシなどの成虫です。白いのは体から出た蟬（ワックス）。秋の終わりに雪のように舞い飛び、地方によっては“この虫が飛ぶと初雪が降る”ので、『雪虫』と呼ばれるようになったみたいだよ。」

花ちゃん 「アブラムシ!?ゴキブリの仲間なんですか？」

フッタ博士 「いやいや、そっちの油虫じゃなくて、アリマキ（蟻牧）のこと。植物の汁を吸うカメムシやセミの親戚だよ。」

モンタ博士 「季節の目安として、雪虫を初めて見た日を毎年記録していくのもいいね。こうしたデータを残していくのはとても大切なことなんだ。この虫のライフサイクルは変わっているから、調べてみるとおもしろいね。北国ではトドノネオオワタムシが大発生して吹雪みたいになることもあるらしいよ。」【図】

フッタ博士 「実は意外なことに、歌謡曲になっているんだよ。」【検索結果を見せながら】

オー君 「うわ～、本当に何曲もあるんだ！ビックリ！」

花ちゃん 「えっ！Kinki kidsのお二人も『ユキムシ』歌っているわ！」

モンタ博士 「谷山浩子さん『雪虫Whisper』、お相撲の増井山太志郎さん『雪虫』、キム・ヨンジャさん『北の雪虫』、まだあるけど、どちらかという演歌系が多いみたいだね。“ゆきむし”で題名検索してこれだけあるから、歌詞に登場する曲はもっとあるだろうね。」

フッタ博士 「弱々しいイメージの虫で、冬の訪れを予感させるから歌になりやすいのかも

し 知れないね。わたし のオススメは さ さ きこのみ の 『雪虫』 です。ゆきむし 服に当たった くらいで死ぬ ことにはない と思うけど。」【みんなでラジカセを聴く】

♪おしりの白い ふわふわした雪虫は 着物に当たるとすぐ死ぬ

じゅうがつようか ゆきむし すがた きもの あ 十月八日は 雪虫の姿みせ 着物に当たるとすぐ死ぬ

はや お じまん が とく い とく い はちじ には かえ 帰っているのか雪虫

まるで死ににきたような虫なので できるだけ 外に出ないでください

どけて通ってくださいね 手でよけることはやめてください

ふゆ よ 呼び 冬を教える雪虫は いつ来ていつ帰る 雪虫

オー君 「う〜ん、弱そうな虫と冬のイメージは伝わるけど、なんか暗い感じでぼくは ちょっと…。10月8日にもう飛ぶのかな？」

花ちゃん 「佐々木好さんは『北海道札幌市出身のシンガーソングライター、…現在は 活動していないが根強い人気で隠れファンが多く、その人たちの青春の思い出の曲となっている。』（ウィキペディア）ですってよ。フッタ博士。」

